

決議

本組合は合同労働組合の本質の立場より、各産業別による組合員の整理を行ひ、猶全国の産業別組合の完成の一口も早かりんことを期し以て先づ本組合より木材労働組合、紡織労働組合、ゴム労働組合及皮革工組合を分化せしむることを本大會は決議す

理由

我が評議會に於ては第一固圀大中央委員會に於て、現存の狀態に鑑み産業別完成より先に総聯合を一元づ形成すること、然し産業別完成を輕視するより先に出不得る限り総聯合運動と相添はしむることとを決議してある。吾々は此の決議に基つて、産業別整理の問題に關しても極力運動を進むるものごころ。

合同労働組合の本質的任務は、種々の産業に属する未組織労働者を組織し、之を教育訓練して各産業別に整理又は分化せしむる其の母体たるものである。現在合同労働組合は各地に存在し、重要な地位を占めてあるが、之は労働運動の初期に於ける過渡的形態であり、之等は一日も早くその中に含まる、各産業を力あるものに組織化し、産業別

別の分化及び整理を行はねばならない。

我が東京合同労働組合は、常に産業別完成及總聯合の促進を目して来た。先には評議會内に於ける産業別整理に、本組合中の金屬労働者を整理して之に送り、又は本組合と任務を同じうし且つ同地域に於て運動しつ、ある總同盟関東合同労働組合に合同を提議した、然し之は関東合同労働組合の容る、所とならなかつたことは、遺憾とするものである。

斯くて本組合の現在の狀態より思ふに、充分産業別になすべく可能性を有し、又必要に迫られつ、あるものがある、即ち木材、紡織、ゴム、皮革等はこれである。

実行方法

(産業別に整理する計画を擧て、来たが)

一 本組合は深川支部を中心とする木材労働の組合員を兼ねて東京家具工組合より提議せられたる木材労働者の産業別組合を組織し、

猶ほ總聯合の完成を計らんとする運動に賛成し、木材労働者を東京合同労働組合より分化し、我が評議會を分離して東京家具工組合提唱の

独立組合組織は無條件に参加するものである。

二 紡織労働の組合員は、評議會總本部組織部の方針に従ひ、評議會内に於ける各地紡織業に従事する組合員の整理と共に、産業別組合